＜和歌山看護学部 看護学科＞（認定課程: 養護教諭一種免許状 ）

（１）各段階における到達目標

履修年次		到　達　目　標
年次	時期	
1年次	前期	看護実践･養護実践の対象となる個人･家族･集団について理解することができる。人間の体の仕組みと働きについて理解し、健康管理・健康教育活動の基礎的知識を理解できる。学外活動によって、人間関係を豊かにするコミュニケーションの方法が理解できる。
	後期	人間の体の仕組みと働きについて統合し、健康管理・健康教育活動の基礎的知識を理解できる。人間の心身の健康状態に影響を与える現象について理解することができる。 援助的人間関係を形成する能力を習得できる。
2年次	前期	養護の知識・技能を支える疫学・公衆衛生・看護学の知識について理解できる。養護実践者として、教職に求められる資質や能力について理解できる。 教職に求められる理念や思想、今日的課題について理解できる。
	後期	養護実践者に必要な基礎的教育実践力を習得できる。 健康教育力を高めるために、他職種と連携する方法を理解できる。 教育の諸制度および教育方法、教育現場での課題について説明できる。
3年次	前期	養護実践についての基礎知識を学習し、養護実践についてイメージすることができる。養護実践者として、子どもの健康管理、健康教育に必要な知識について説明できる。養護教諭として必要な実践的解決能力や技能について理論を活用して説明できる。
	後期	生命や人の尊厳を重視し、人権を擁護する倫理的判断について理解できる。 他職種と協働する方法、調整力やマネジメント力を高めるための方法について説明できる。養護実践力の構成要素について説明できる。
4年次	前期	生命や人の尊厳を重視し、人権を擁護する倫理的判断について理解できる。 他職種と協働する方法、調整力やマネジメント力を高めるための方法について説明できる。
	後期	養護の現場で他職種と協働し、養護教諭として果たすべき役割について説明できる。養護教諭としての志向を高め、自分自身の課題について考えることができる。 養護実践における課題を把握し、解決する方法を考えることができる。

＜和歌山看護学部 看護学科＞（認定課程:　養護教諭一種免許状 ）

（２）具体的な履修カリキュラム

履修年次		教職に関する科目	養護に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の６に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期	科目名称	科目名称	科目名称	科目名称	科目名称
1年次	前期		体の仕組みと働きⅠ（筋・骨格系、自律神経系、内分泌系、血液）		日本国憲法	心理学
			体の仕組みと働きⅡ(脳神経系､神経系､感覚器系､免疫系)		スポーツ科学	キャリア教育Ⅰ(学問と専門職倫理)
			基礎看護学概論		スポーツ実習	
			基礎看護学実習Ⅰ（早期体験実習）		英語	
					情報リテラシー	
					パーソナル・コンピューター入門	
	後期		公衆衛生学		英会話Ⅰ（基礎）	データサイエンス
			栄養学		情報科学概論	
			体の仕組みと働きⅢ（循環器系、呼吸器系）			
			体の仕組みと働きⅣ（泌尿器系、消化器系、生殖器系）			
			病原微生物学			
2年次	前期	教育原理	保健医療福祉行政論			社会福祉論
		教職論	学校保健Ⅰ(学校保健の概要)			
		教育心理学	臨床薬理学			
		教育課程論	精神看護学概論			
			小児看護学概論			
			急性期看護学実践論			
	後期	教育制度論	疫学・保健統計論	基礎看護学実践方法論		キャリア教育Ⅱ(看護職のキャリア)
		特別活動の指導法	学校保健Ⅱ（学校保健と学習指導要領）			
		教育方法論	精神看護学実践論Ⅰ(精神医療保健と看護)			
		学校教育相談	基礎看護学実習Ⅱ(看護過程展開実習)			

履修年次		教職に関する科目	養護に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の６に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期	科目名称	科目名称	科目名称	科目名称	科目名称
3年次	前期	特別支援教育の基礎	養護概論			
		道徳教育/総合的な学習の時間の指導法	学校健康相談			
		生徒指導論	小児看護学実践論Ⅱ（小児における看護過程の展開）			
			精神看護学実践論Ⅱ（精神看護）			
	後期		小児看護学実習			
			急性期看護学実習			
4年次	前期		看護統合実習A（組織された看護実践）			
	通年	養護実習（事前・事後指導1単位含む）				キャリア教育Ⅲ（キャリア再考）
		教職実践演習（養護教諭）				